

3 後片付け



①ウェットティッシュ等で表面に残ったゼリーをきれいに拭き取ってください。

※ゼリーが残ったまま乾燥すると、表面が傷んだり、超音波画像に影響を与える場合があります。

②P3①準備で示したのと逆の手順でパッドと模擬皮膚を腕台から取り外します。



注意 実習後はパッドと皮膚は取り外して保管してください。長期接触により製品の変形が発生する可能性があります。

本体からパッドを取り外した後は模擬血管に負荷がかからないように保管してください。お届けの梱包箱をご利用することをお勧めします。

模擬皮膚は広げながら脱着してください。上下方向に引っ張ると損傷する可能性があります。

消耗品一覧

コード番号	部品名	
11351-120	M99 エコー動脈穿刺パッド(内部) 2個組	
11351-130	M99 エコー動脈穿刺パッド(皮膚) 2個組	

・ご不明な点は、お買い上げの販売店、もしくは下記(株)京都科学まで御連絡ください。

URL : <http://www.kyotokagaku.com>
e-mail : rw-kyoto@kyotokagaku.co.jp

■本社・工場
〒612-8388 京都市伏見区北寝小屋町15番地
TEL:075-605-2510(直通)
FAX:075-605-2519

■東京支店
〒113-0033 東京都文京区本郷三丁目26番6号
NREG本郷三丁目ビル2階
TEL:03-3817-8071(直通)
FAX:03-3817-8075

[2025.10]

注：モデル表面に取扱説明書や印刷物などが直接触れないようにしてください。樹脂表面にインクが吸収され消えなくなります。

M99

動脈採血シミュレータ オプション品
エコーガイド下動脈穿刺パッド

取扱説明書



目次

- ご使用の前に
ご使用前の確認とご注意 P.1
- 実習手順
準備 P.2
準備・実習 P.3
後片付け P.4

注：M99 11351-000 動脈採血シミュレータに取り付けてご使用ください。本製品は、拍動の触知による穿刺には適していません。

● はじめに

このたびは、当社の「エコーガイド下動脈穿刺パッド」をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。ごさいます。

本製品は、実際の診療現場で使用される超音波診断装置を使ってエコーガイド下による橈骨動脈の穿刺、採血トレーニングが行えるシミュレーションモデルです。

※医学実習用教材としてご使用ください。

● 特長

・当社が開発した素材により超音波走査に対して人体と同等のエコー値を示します。(平成15年11月2003 公開)

・製品「M99 動脈採血シミュレータ」のオプションパーツです。※本体別売り

・皮膚の表面に針跡が残りにくく、実際に近い感触の素材です。

・お手持ちの超音波診断装置でいつでも繰り返しトレーニングができます。

※適切な精度管理が行われている超音波診断装置をご使用ください。

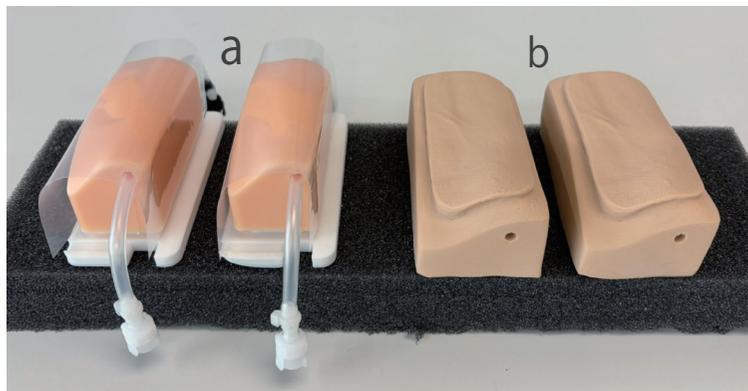
使用される超音波診断装置によっては画像の見え方が異なる場合があります。

セット内容と各部の名称

ご使用の前に、構成品が全て揃っているかご確認ください。

●構成

- a. パッド …………… 2個
- b. 模擬皮膚（エコー用）…… 2個



⚠ 注意

● 取扱いにご注意ください。

特殊軟質樹脂を使用していますので、落下や強い衝撃を与えると破損の原因となります。

● 印刷物をモデル表面におかないください。

モデル表面に印刷物などが直接触れないようにしてください。樹脂にインクが吸収され消えなくなります。

● ボールペンやサインペンを使用しないでください。

サインペン、ボールペン等でモデルの表面に書き込みをしないでください。インクが吸収され消えなくなります。

● エコーガイド下トレーニングには「US」の刻印が入った皮膚を使用してください。

※シミュレータ用皮膚を使用すると減衰により画像が暗くなる場合があります。

● 使用後のゼリーはすぐに拭き取ってください。

使用後は、ウエットティッシュ等で拭き取ってください。※汚れをシンナー等で拭き取る事は絶対におやめください。

● 表面が変色する場合があります。

長期間使用されない場合や経年変化で変色することがありますが、ご使用には差し支えありません。

● 高温多湿を避けて保管してください。

使用後は、高温多湿や直射日光のあたる場所での保管はさけてください。変形、変質の原因になります。



1 準備

※お手持ちのモデルから模擬皮膚、模擬血管、骨台を取り外します。
M99 動脈採血シミュレータ 取扱説明書P23～24参照



皮膚とパッドの隙間にゼリーを使用しないでください。チューブ内にゼリーが混入して固着し、循環ポンプが破損する恐れがあります。

模擬皮膚は広げながら脱着してください。上下方向に引っ張ると損傷する可能性があります。



① 水を用意します。



② パッド表面に水を湿らせます。



③ 模擬皮膚をかぶせます。



④ 腕台に接続します。



⑤ 腕モデルをかぶせます。

※チューブの接続および循環ポンプの組み立てはM99動脈採血シミュレータ取扱説明書P19参照

2 画像描出



調整ツマミを反時計回りの方向に止まるところまで回して調整を解除して使用してください。調整を解除しないで使用されますと水漏れの原因になります。

※調整ツマミの使い方はM99動脈採血シミュレータ取扱説明書P22参照



① ゼリーを塗ります。



② プローブをモデルに当て、超音波画像を描出します。

